

多目的室

1. 多目的室の機能

- 小学校では1室を生活科室と兼ねる
- ラーニング・コモンズ*の機能の一部を兼ねることができるよう、必要な設備を設置する
- ホール、オープンスペース*、および視聴覚室の機能の一部は多目的室で代替する
- ランチルーム*、和室、ラウンジ*機能は多目的室と兼用する
- 災害時に避難所の一部(思いやりルーム*)として使用することを想定し、必要な機能を整備する

2. 多目的室の面積と配置

- 学年単位の集会を想定し、1室あたり2コマとする
- 他の教室との連携を考慮しつつ、多機能化*（地域開放）を想定し、配置する
- ランチルーム*としての利用を想定した配置とする
- 避難所の一部として、校庭や屋内運動場との接続も考慮し、配置する

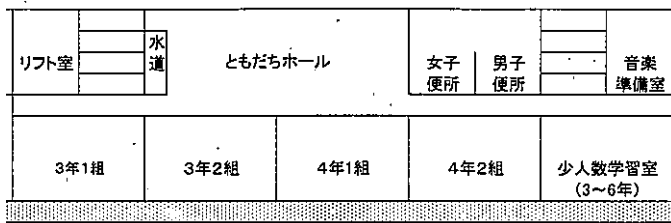
現在の設置状況

名称	特徴	設置校数
多目的室	壁で仕切られ、独立した部屋	14
ホール	多目的室の代替として、教室の対面に設置された空間	2
オープンスペース*	多目的室の代替として、教室と一体で設置された空間	2
ランチルーム*	多目的室とは別に表示された部屋	5
和室	和室として表示された部屋	4

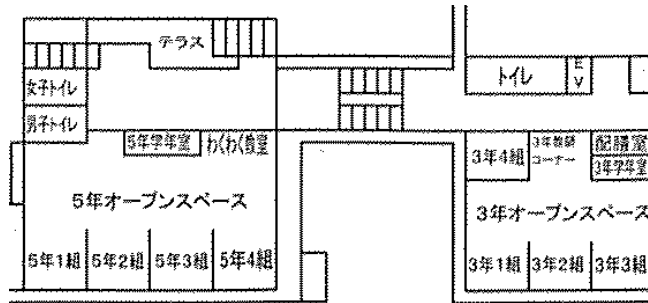
ホール、オープンスペース*と多目的室

現在

ホール(本宿小)

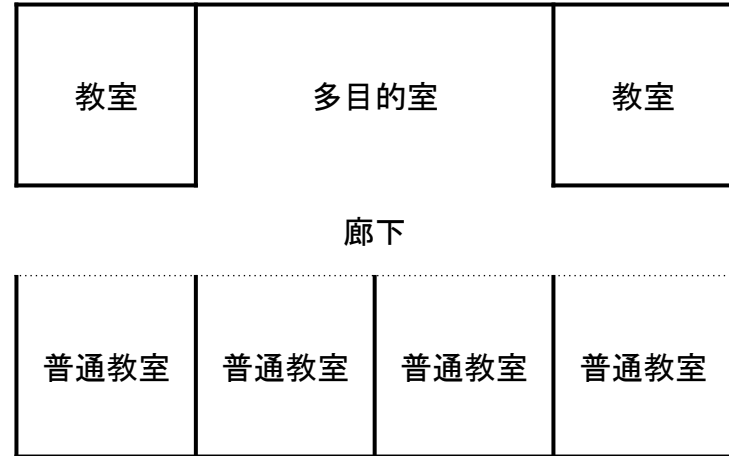


オープンスペース*(大野田小)



改築後

多目的室(例)



多目的室を教室の対面に設置する



従来のホール、オープンスペース*の機能を継承できる

使用例

- 複数学級または学年単位の集会
- 共同学習、グループ学習
- 遊び場、ラウンジ*
- クールダウン*
- 学年単位の掲示
- 大きな作品の制作